

【高等学校「情報Ⅰ」データの活用 問題解決】①

【香川県立高松東高等学校】

学習指導と学習評価の工夫・改善点の概要

地域の課題の設定で、自分のこととして捉えやすく、課題解決を行う探究活動を積極的に取り込めるようにした。またICT端末や共同編集フォルダの利用により、リアルタイムでの共同編集を可能にし、より活発な活動をできるようにした。

評価規準

- 〈知・技〉 データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身につけている。
- 〈思・判・表〉 データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択、実行し、評価改善することができる。
- 〈態度〉 目的に応じた情報を自ら積極的に収集し、試行錯誤しながら、粘り強く活動へ取り組もうとしている。

主体的・対話的で深い学び， 探究的な学び， 個別最適な学び， 協働的な学び

テーマの設定

テーマの仮説立案

データの収集

データの分析

発表・振り返り

- 香川県の課題である「糖尿病患者数」や「交通事故死者率」など6つテーマを提示生徒がその中から興味があることを選択することで、その課題を身近なこととして、生徒自身が捉えやすくし、問題解決を行う探究活動を積極的に取り込めるようにした。
- 「政府統計の総合窓口(e-Stat)」や気象庁が出している「気象観測データ」など信頼できる機関や企業からのデータを、複数年分収集する。
数学Ⅰ「データの分析」で学習した統計知識や、情報Ⅰにおいて学習した散布図などのグラフの作図の技能を用いて、収集したデータを多面的に見るように指導した。
- ICT端末および共同編集フォルダを利用し、それぞれの活動を確認し合いながら、グループ内で他の生徒が作成した資料に対してように編集を加えたり、データをつけ足したりして協働的な学びを実現させた。
- 発表時には、他のグループからも評価を受け、異なった視点の考えや情報を共有し、様々なものの見方・考え方をまとめる学習をおこなった。

香川県

- ・生徒にとって身近なテーマを設定し、さらに生徒の興味・関心があるテーマを選択させることで、その課題に対して主体的に取り組める工夫がされている。
- ・自分の考えをワークシートに記入するとともに、グループ活動を通して他人の考えや表現と比較し、取り入れることで生徒の変容を見て取れる機会が設定されている。
- ・ワークシートの項目内容については、「メモ」だけでなく、発表の際に聞き取るポイントとなるような観点項目を記載すると、より発表に学びが広がり深まると考えられる。
- ・グループ活動を通して、生徒同士で気軽に質問したり、確認し合ったりすることで、学習内容の理解が深まり、苦手意識の高い単元に積極的に問題に取り組むことができる。